



# 平成28年度 学校版環境ISOの取組

## 和水町立三加和小学校

### 1. 宣言 (PLAN)

4月の委員会の時間に話し合い、今年度の行動目標として以下の4つの項目を設定した。昨年度は、児童の行動目標と職員の行動目標が対応しておらず、達成率が把握しづらいという課題があった。そのため本年度は、「①節水」、「②節電」、「③ゴミの減量」、「④環境美化」という大きな目標を4つ設定し、児童も職員もそれに応じた実践を行っていくことにした。

#### 平成28年度 三加和小版 ISO 行動目標

- ① 水を大切にします！
- ② 電気を大切にします！
- ③ ゴミをへらします！
- ④ きれいな三加和小にします！

#### 数値目標

- ② 水道使用量・電気使用量を昨年度より3%以上減らす
- ①～④ 意識調査による達成率80%以上

決定した行動目標はISOコーナーに掲示した他、児童集会で発表をしたり、給食の時間に放送で呼びかけを行ったりした。



### 2. 行動 (DO)

#### 行動目標① 節水の取組

毎日の歯みがきを、コップ1杯の水で行っている。



雑巾洗いは、バケツに水をくんで行っている。



石鹸で手を洗う時は水を止めている。

#### 行動目標② 節電の取組

教室を空けるときには、必ず電気を消すよう徹底している。



冷房機器は、気温が28℃以上で、暖房機器は10℃以下のときに使用するよう心がけている。また夏場には、教室周辺(2か所)にグリーンカーテンを設置し、暑さ対策を行った。

#### 行動目標③ ゴミをへらす取組



一昨年度から校内でペットボトルの蓋と牛乳パックの回収を行っている。児童玄関横の環境コーナーの一角にリサイクルスペースを設け、回収を促している。ペットボトルの蓋は、集めて企業に提出することでワクチンにかえることができる。また牛乳パックは、約6枚でトイレトーパー1つにリサイクルされる。

「全学年『残食0』」を目指して取り組んでいる。全てを食べることはもちろん、食缶の中まできれいにすることを呼びかけている。

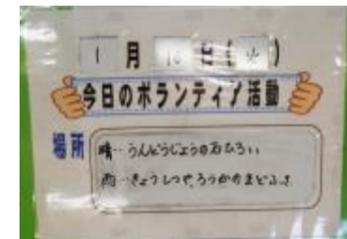


印刷室には、裏紙使用のためのボックスがあり、職員間で配布するプリントは裏紙を使用するようにしている。



#### 行動目標④ 三加和小を美しくする取組

企画委員会の呼びかけで、毎朝ボランティア活動(学校美化活動)を行っている。運動場の石拾いや草取り、雨の日には窓ふきなど、その日に行うことを児童昇降口に設置したホワイトボードに示し、希望者が始業前に取り組んだ。



三加和小学校では、「無言掃除」を推進している。無言掃除をすることによって、5つの心(気づきの心、思いやりの心、協力する心、自主の心、感謝の心)が育つと考えており、これらを書いた掲示物を掃除用具箱に貼って、取組を促している



環境美化委員会の活動や、各学年の取組として花栽培を行っている。玄関前や各教室のベランダ周辺に季節の花が咲き、とてもきれいである。

## その他の取組

### 【校外での環境学習】



4年生では、総合的な学習の時間を使って、水の学習をしたり、ごみについて調べたり、水環境やリサイクルについて学習している。

5年生では、「水俣に学ぶ肥後っ子教室」を実施し、水俣へ行って環境センターや水俣病資料館で環境について学習を行った。学校に戻ってからも、学習したことをグループごとにまとめ全学年の前で発表した。



### 【PTA リサイクル活動】



年に2回、PTA主催でリサイクル活動を行っている。資源ごみの回収を行う活動で、作業を手伝う子どもたちも多い。毎回たくさんの資源ごみが集まり、その分別についても学ぶよい機会となっている。

### 【「いちごっこ会」指導によるトイレ掃除】



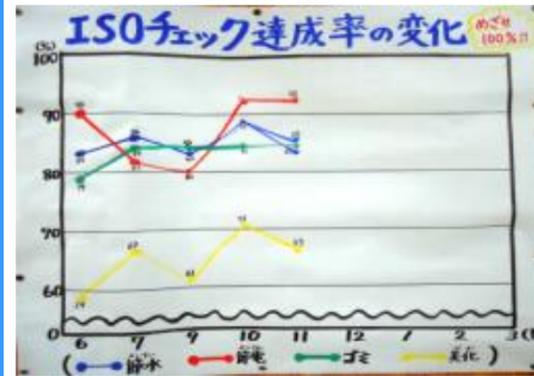
「いちごっこ会」の方に、毎年トイレ掃除の指導をしてもらっている。5・6年生を対照とし、基本的な掃除の仕方はもちろん、「トイレを磨くことは、心を磨くこと」といったことも教えていただいた。

## 3. 記録(CHECK)

### 【チェックカードとその達成率】

クラス用・職員用の ISO チェックカードを作成し、4つの行動目標について、月毎振り返っている。

月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
達成率(%)	83	81	82	89	87	85		



また、専用の Excel シートを作り、それを使って4つの行動目標の達成率を数値化し、グラフに表している。グラフ化することで、項目ごとの比較や、前月との比較ができるようになった。

### 【電気使用量・リサイクル量の見える化】

委員会の児童が、毎月の電気使用量をグラフ化して環境コーナーへ掲示している。使用量は、今年度のものだけでなく、昨年度と一昨年度の数値とグラフも一緒に示し、比較が出来るようにしている。



ペットボトルの蓋と牛乳パックがどのくらい回収されたのかを示す掲示物を環境コーナーに貼っている。ペットボトルの蓋は、企業へ提出した際の感謝状を掲示し、蓋が何kg集まったのか、そしてそれがワクチン何本分になったのかが示されている。また牛乳パックについては、集まった枚数を環境美化委員会で定期的に数え、その数値を記録し示している。

牛乳パック、何まい集まったかな?	まい
4~7月	112
8~12月	255
1~3月	まい

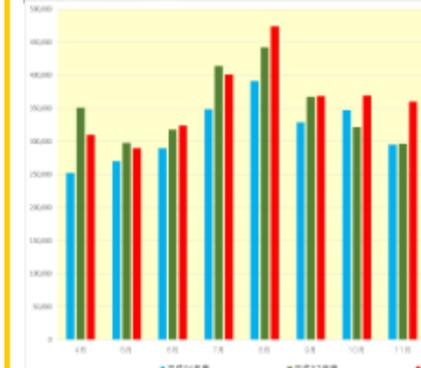
### 【無言掃除チェック週間】

毎日の掃除がきちんと無言で行っているか確認するために、「無言掃除チェック週間」を設け、チェックを行った。環境美化員会で各掃除場所を見て回り、よくできていた場所を放送で紹介した。普段は、なかなか無言掃除ができていない場所も、チェックを行うことで意識して取り組む様子が見られた。

## 4. 見直し(ACTION)

### 【使用量のグラフから】

#### 電気使用量



電気使用量は、昨年度と比較し、ほとんど上回ってしまった。数値目標の達成も厳しい状況である。

猛暑の夏だったため、冷房機器をよく使ったこと、使わない教室の照明は消されているが、照明量の調節までは実施できていないこと等が要因と考えられる。晴れた日は照明量を調節することを今後は呼びかけていきたい。

### 【行動目標の達成率から】

行動目標の達成率の変化				
(ISOチェックカードで「よくできた」と答えた児童・教師の割合(%))				
	①節水	②節電	③ゴミ	④環境美化
5月	83	90	79	59
12月	84	92	87	75

5月と12月を比較すると、すべての項目において目標を意識して行動できる人が増えている。しかし、「環境美化」については、目標達成率を80%以上に設定しているため、もっと意識化するための手立てを考える必要がある。今後、委員会内で話し合い、取組を行いたい。

### 【取組全体の成果と課題】

- 4つの行動目標に絞ったことで、やるべきことが分かりやすくなり、児童・教師共に実践を行うことができた。
- 行動目標の振り返りを毎月行ったり、環境コーナーを設けて情報を発信したりしたことで、意識して行動する児童が増えつつある。
- 朝のボランティア活動への参加がまだまだ少ない。意欲を持たせるような手立てが必要である。
- 学校で ISO 活動が実践できていても、それが家庭にまで広がっているとは言い難い。家庭での ISO 活動を推進できるよう、連携した取組を今後は考えていきたい。
- 本校は、小中一貫教育を行っている。この環境 ISO 活動についても、共通の行動目標を設けて一緒に取組を進めていければ、更に質の高い取組になると考える。来年度の課題としたい。